

松崎町

地形概況

那賀川と岩科川流域の長九郎山地・南伊豆山地が広く、門野は地すべり地である。河口の砂堆で閉塞された後背湿地と谷底低地、山麓の崖錐や小扇状地からなる。岩地から雲見にかけては山地がせまり海食崖をなし、河谷は土石流堆積物が埋積している。

地質概況

凝灰質砂岩・火山角礫岩などからなる湯ヶ島層群や、白浜層群が分布する地域は広く、北部には安山岩質の長九郎火山噴出物、南部には輝石安山岩の蛇石火山の一部が分布する。雲見にかけての海岸は貫入岩体の石英安山岩が海食崖を形成する。

気象概況

年平均気温は 15.6°C、年平均降水量が 2,119mm(江奈)で冬季に暖かく、夏も高温にならない。年平均日照時間数は 2,336 時間で、1 年のうち日の当たる日が 52%である。1 年を通じて西方向の風が多く吹き、1 月には平均 4.6m の風速がある。

災害事例 地震

- 1978 年 1 月 14 日 (昭和 53 年) 伊豆大島近海地震 M=7.0
被害は負傷者 2 人、住家全壊 4 戸、半壊 11 戸、公共建物 1 箇所、文教施設 4 箇所、病院 3 箇所、道路 4 箇所、崖崩れ 21 箇所などに及んだ。
- 1974 年 5 月 9 日 (昭和 49 年) 伊豆半島沖地震 M=6.9
一部損壊 277 戸、山(崖)崩れなどの被害があった。
- 1854 年 12 月 23 日 (安政元年) 安政東海地震 M=8.4
静岡県下に大被害を与えた地震である。当地の地震被害のくわしいことはわからないが震度は 5~6 に達した。

災害事例 津波

- 1960 年 5 月 24 日 (昭和 35 年)チリ地震津波
南米、チリ沖に起こった地震による津波である。津波の高さは 0.5m 位。干満の差は 1.5m 位あった。
- 1944 年 12 月 7 日 (昭和 19 年) 東南海地震津波
津波の高さは 1.5m、或はもっと小さく、殆ど被害はなかった。
- 1854 年 12 月 23 日 (安政元年) 安政東海地震津波
道部村 130 戸全村、宮内村 20 戸のうち 15 戸、松崎村 190 戸全村、江奈村 100 戸のうち 5 戸浸水という記録が残されている。津波の高さは 3.3~4.5m であった。また数値実験によると津波は地震後 4 分程度で到達していることになる。

災害事例 高潮

- 1979 年 10 月 19 日 (昭和 54 年) 台風 20 号
床上浸水 5 戸、床下浸水 21 戸の被害を生じた。

災害事例 台風

- 1958年9月26日(昭和33年)狩野川(22号)台風
伊豆半島一帯で被害甚大で、死者・行方不明1,000人以上にのぼった。松崎町では負傷者6人、全壊5戸、半壊10戸、流失1戸、床上浸水535戸、床下浸水580戸、流埋田畑3haの被害が出ている。
- 1940年7月13日(昭和15年)
被害は伊豆半島南部に集中し、当町内で死者2人、床上浸水600戸、床下浸水350戸、流失埋没田128haに及んだ。
- 1759年8月9日(宝暦9年)
豆州池代村に大風水害が起こり死者49人が出た。死体は松崎村向浜浄泉寺領地に流れ着き同地に埋葬したといわれる。

災害事例 豪雨

- 1977年11月17日(昭和52年)
最大時間雨量は、55mm(17日1時~2時)に達した。
- 1976年7月10日(昭和51年)
伊豆地方中・南部で大雨、雨量は10日9時~12日9時の2日間で400~500mmに達した。被害は死者2人、負傷5人、全半壊流失家屋15戸、浸水家屋床上166戸、床下528戸、道路損壊31箇所、橋梁流失8箇所、堤防決壊7箇所、山(崖)崩れ145箇所などに及んだ。